

放課後等デイサービス自己評価表(ガイドライン)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対しては適切ですが、児童の特性などを考慮し本体施設を利用したり活動の内容を工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置しております。
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーですが、玄関口は構造上難しいところがあります。移動時の足元への配慮については、その都度介助しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の会議や日々のミーティングなどにより確認を行っております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○			満足度調査を実施しており意向を把握し改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等に公開しているか	○			ホームページに掲載しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けておりませんが、サービス自己評価を行い、改善に取り組んでいます。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所見学、メンタルヘルス研修、発達障がい研修、虐待研修等に参加しています。また、事業所会議ではテーマを決めて学習会を実施しています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始時やモニタリング時に家族の意向を把握し、事業所会議等で課題を分析しサービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	事業所独自のアセスメント様式を使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の事業所会議で翌月及び翌々月の活動案を検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物などの実施、季節行事を取り入れるなど工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日に活動内容に組み込めない、買い物、外食、公共施設の利用等の外出機会を設け、児童の特性に応じて社会体験学習を実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の特性などを考慮し集団活動と個別活動を組み合わせ計画を作成しています。大集団が苦手な方の為に小集団での活動も計画しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の利用児童、送迎ルート、活動内容及び支援についての留意点等を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			連絡簿や引継ぎ簿を活用しながら、活動内容や支援の振り返り、今後の課題などを共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	分かり易い記録となるよう周知を図っておりますが、更に適切な記録を目指して支援の検証及び改善に努めてまいります。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			法令に基づき定期的にモニタリングを実施しています。また、適宜、児童の変化等によりモニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物などの実施、季節行事を取り入れるなど工夫しています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		適宜、児童発達支援管理責任者及び担当職員が参加しています。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との連絡会やおたより等において連絡調整はその都度行っております。また、児童の様子については学校迎え時に教諭から引き継いでいます。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、利用する児童はおりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	これまではそのような状況はありませんが、情報提供の要請があれば応じます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			適宜、助言を受けられる体制にあります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			やさわの園行事に参加したり、近隣中学校学生のボランティアを受け入れて交流会を実施しています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会にはやさわの園で参加しており、情報については共有を図っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家族と事業所との連絡ノートを活用して日々の情報を共有しております。成長について気にかかることなど、家族の思いを理解出来るように努めています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	職員は学習会を設けながら、対応技能の習得に努めていますが、保護者向けの支援体制は充分ではありません。サロン事業等を活用しながら、保護者の方への理解を求めていきたいと考えています。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約前の見学時や契約時・変更時に説明を行っています。また、問い合わせがあった都度説明しております。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートにてお子様の様子や子育てに対する思い等を記入していただきながら情報共有しています。また、モニタリング時には保護者様のお話を丁寧に伺いながら一緒に考えていく姿勢をとっています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は保護者会は設けておりませんが、サロン事業を実施して保護者間の交流を図っております。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決マニュアルに従い、適切に対応しています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の事業所便りや行事等活動予定を配布しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			各保護者様からご意向の確認をいただきながら、個人情報保護マニュアルに従って対応しております。また、掲示物等に関しても、必要に応じて承諾をいただきながら対応しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			発達障がいの方等に視覚的な情報伝達方法をしたり、文書にはルビをふるなど配慮しています。

③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	近隣中学校などからのボランティアを受け入れておりますが、今後とも地域に開かれた事業所運営に努めています。
----	-------------------------------------	--	---	--

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定しており、必要に応じて文書やお便りでお知らせしています。今年度のサロン事業にて、緊急対応マニュアル等の説明を実施しました。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○		毎月の避難訓練をしています。活動には、毎月「防災の日」を定めて、利用児童の防災意識を高めるための体験を取り入れています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		グループ内の研修会に参加しているほか、外部研修を受講しています。事業所会議では、防止のための学習会の他、職員間の意見交換なども行っております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		拘束が必要になる場面が想定される方には承諾書を取り交わしており、モニタリング時には、状況の説明を行いながら対応について検討しています。児童の特性や日々の支援方法については、事業所会議等で検討しながら統一して支援するよう努めています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、食物アレルギーの児童はおりませんが、必要な状況になれば、適切に対応します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所会議でリスクマネジメントについて学習会を実施しています。また、提出レポートは、その都度検証しながら振り返りを行いながら共有を図っています。